

## 桐生市庁舎建設基本計画検討有識者会議 結果概要（第2回）

- 1 日 時 令和2年11月25日（水） 午後6時25分～午後8時
- 2 場 所 桐生市役所 正庁
- 3 出席者 委 員：金井委員長、川端副委員長、室委員、茂木委員、靱山委員、尾花委員、深澤氏（代理出席）、柳原委員、鈴木委員、糸井委員、馬場委員、中村委員、徳田委員  
事務局：青木総務部長、青木総務課長、青木担当係長、金子主査、吉川主任、寺嶋主事  
久米設計：伊藤彰、魚本
- 4 傍聴者 14人（うち報道機関2人）

### 5 会議内容

#### （1）開 会

#### （2）議事

#### ア 桐生市庁舎建設基本計画策定スケジュールの変更について

##### 資料1 庁舎建設基本計画策定及び基本設計までのスケジュール

委員長	有識者会議の回数が5回から7回に増加しているが、委員からの異議はないか。
全委員	了承。

#### イ 桐生市庁舎建設基本計画（素案）目次から第3章まで

##### 資料2 桐生市庁舎建設基本計画（素案）

##### ① 基本計画の全体像（目次）

委員長	序章から8章までの章立てを本日確定した場合、今後の変更はないという考えで良いか。
事務局 全委員	微調整はあるが基本骨格はこの形でいきたい。 了承。

##### ② 基本計画の背景（序章～第2章）

委員	1. 沿革、2. 地域・気候に記載されている内容については、今後の設計の中に組み込まれるという考え方で良いか？
事務局	最大限反映した設計にしていく予定、詳細は今後の議論の中で検討したい。

委員	木材の利用など、桐生らしさを建築に反映するためには、桐生に適した設計業者を選ぶ必要があったのではないかと。市役所が市の象徴となれば観光の拠点にもなりえる。
事務局	設計業者についてはプロポーザルで決定した、判定の基準は技術力やプレゼンの内容であり、その時点で設計が見えている訳ではない。今後、市民の意見を聞いていく中で桐生市産材の使用の要望が多く出た場合には、有識者会議の中でも意見を頂戴することになる。
委員	庁舎面積の32%削減について、なぜその数字になったのかの理由を知りたい、ここは選挙でも論点になるところである。
事務局	32%削減という数字は桐生市公共施設等総合管理計画のなかで、今後の人口減少及びそれに伴った職員数の減少に基づき決められた数字である。計画の中では支所・連絡所含む全ての庁舎が対象であるが、現在、個別計画策定中につき先行して本庁舎での縮減率達成を目標としている。
委員	4. 都市構造の部分で100年に1度、1000年に1度という言葉があるが、1度しか起こらないと捉えられてしまう、再考の余地はないのか。
委員長	100年に1度は計画規模、1000年に1度は想定最大規模という言葉に置き換えることが出来る。
事務局	ハザードマップの中で使われている言葉を使用したがるが、浸透していないのが事実である。関係課や策定委員会での協議の中で、言葉選びについては検討していきたい。
委員長	災害対策拠点や防災拠点という言葉が何度も出ているが、拠点を造る事も大切だが、職員の対応ありきでの話になるのでそこも記載してもらいたい。
事務局	策定委員会で検討したい。

### ③ 新庁舎の基本理念（第3章）

委員	基本理念2で施設の長寿命化とあるが具体的に何年使う予定か。群馬県では今後の建築物については、設備の更新を行いながら躯体の部分は100年使用するという目標をたてているがそれについての検討はしているのか。
事務局	50年を一つの目安としているが、今後50年使った中でその後80年・100年使えるように考えていきたい。
委員	基本理念4の中で「本市の特性を生かした建築計画」という言葉があるが、この表現だと人によって捉え方に違いが出てしまうのではないかと。

事務局	本市の特性という部分では詳細についてはまだ決まっていないが、地域産材や織物の利用を想定している。言葉の選択については今後検討が必要である。
委員	バリアフリーという言葉がないが考えていないのか。
事務局	基本理念1においてバリアフリーについても含めて考えている。
委員	人口減少についての記載があるが、人口構成についての指標はあるのか。
事務局	上位計画には出てきているが、計画の中でその指標を出すことが適切かどうか精査し対応したい。
委員	人口推移について、市が出している目標の数字と国が出している統計の数字、どちらを採用しているのか。
事務局	関係課に確認し今後提示。
委員長	市民が誇れる庁舎となるようにしてもらいたい。財政面についても高齢者や市外への転出者からクラウドファンディングやふるさと納税を用いて援助を受けることで、市民や桐生市出身者が一体となり建設することで市の象徴になるのではないかと検討する。
事務局	検討する。
委員	昨今ダムの取水制限のピークカットが増加し、また利水容量の変更があったが、それがあったとしても今までと同程度の水害対策は必要なのか。
委員長	降水量の増加状況を考えると同程度の水害対策は必要。
委員	ランニングコストについての記載はあるのか。意匠にこだわるのも良いがメンテナンスのしやすさも考えて欲しい。
事務局	基本理念2に記載。当然考えてはいるが具体的な表現方法については今後の検討項目とする。

ウ 桐生市庁舎建設基本計画検討有識者会議各委員の意見・要望について

資料3 有識者会議要望書まとめ

① 【質問】

委員	市役所の敷地内に市民が集まれるようなスペースを作る計画はあるのか。
事務局	検討中、駐車場の問題とも絡めて今後の検討項目とする。

② 【具体的な要望】（基本設計、実施設計等で検討）

委員	要望の中で今の庁舎の中でも実現できそうなものがあるが、今の段階で実行しながら利便性などを追及していくことは出来ないのか。設備ではなく人で対応できるものについては実験的に進めて欲しい。
委員長	

事務局	費用が伴う改修要望については実現が難しい。人で対応できるものについては、策定委員会及び担当課と検討したい。
委員	陶板を残して欲しい。
事務局	市役所以外の場所も含めて残せるように検討していきたい。

③ 【意見・提案】

委員	新しい市役所を中心としたコンパクトシティについての計画を具体的に進めて欲しい。
事務局	担当課に対しても意見を伝える。
委員長	自治体が進めるコンパクトシティの計画については、強制的ではなく誘導していくものになるので感じ取りづらい部分がある。
委員	有識者会議にてあげられた意見・要望書についての扱いはどうなるのか。
事務局	意見については議論を行う。要望への回答方法については検討中。回答については行う予定。

(3) その他

次回の桐生市庁舎建設基本計画検討有識者会議

12月22日(火) 午後6時30分～ 正庁

委員長	今回の会議の意見についての意見募集はあるのか。
事務局	12月4日(金)までに、前回同様メール、郵送、電話等で受け付ける。

(4) 閉会